

ハネウェルジャパン株式会社

Honeywell

THE POWER OF **CONNECTED**

ハネウェルは、テクノロジーの力で
よりクリーンで、
より持続可能で、
より安全で「つながる」、
エネルギー効率性と
生産性に優れた
世界を目指します。



ごあいさつ



ハネウェルは、科学、技術、社会の大きな流れ（マクロトレンド）の中で世界が直面する最も難しい課題にテクノロジーの創造力でお応えします。

当社は、航空宇宙、ビル・住宅・産業向け制御技術、ターボチャージャーや高機能素材など、テクノロジーともものづくりの技術を生かした幅広い製品やサービスを世界中のお客様にお届けしているグローバル複合企業です。

デジタル革命により、モノとソフトウェアやデータを新たな形で「つなげる」技術や製品が登場し、私たちの生活、働き方や繋がり方も大きく変えつつあります。当社は、そうした変化の中、ソフトウェア技術を成長戦略に位置づけ、高度なモノの技術と先進ソフトウェア技術の融合に取り組んでまいります。

当社のソフトウェア開発能力と技術は、全世界のすべての事業において CMMI®（能力成熟度モデル統合）最高の成熟度であるレベル5を達成しています。こうした実績を背景に、IoT（モノのインターネット）の分野においても、競争力と効率性に長けたソリューションをご提供します。

国内の事業活動も60年余りとなります。お客様との信頼関係に支えられ、現在では、セールス、マーケティング、製造、サービスに携わる約400名の従業員が一丸となり、輸送機器、オートメーション、構成部品、素材、そして高いセキュリティ性を誇る産業IoT・ビッグデータまで幅広い製品を日本のお客様にお届けしています。

首都東京が2020年への準備を進め、国内ではエネルギー効率化、「つながる」接続性、そして環境や持続可能性への関心が高まると見られるなか、当社は今後も、お客様と共に成長を目指し、革新的で環境効率性高い技術とソリューションをお届けしてまいります。

ハネウェルは、日本のお客様の長きにわたる信頼に値するテクノロジーで、よりクリーンで、より持続可能で、より安全で「つながる」、エネルギー効率性と生産性に優れた世界を目指します。そして、より良い暮らしと環境を実現するソリューションを通じて、お客様の成功に貢献してまいります。

ハネウェルジャパン株式会社
代表取締役社長
木下 靖博

魅力ある分野・業界を支える技術力

エネルギー効率化と クリーンエネルギーの生成

充実の製品・サービスラインアップ
(全製品ポートフォリオの約 50%)
で、幅広い産業のエネルギー
課題解決に寄与します。



エアトラフィック
モダナイゼーション



バイオ燃料



グリーン建築



低 GWP
(地球温暖化係数) 冷媒



低燃費
ターボチャージャー



産業プロセス
効率化



デマンドレスポンス
& スマートグリッド



EPC (エネルギー効率化
パフォーマンス契約)



ホームセキュリティ



産業プロセス & 安全



ガス監視 & 検知



Honeywell
Instant Alert®



サイバー
セキュリティ



安全保護具



SmartView™
シンセティック
ビジョンシステム



Spectra® 繊維

安全とセキュリティ

災害やリスクの拡大を防ぐ
安全機器と技術に加え、
さまざまな脅威に備えた
セキュリティソリューション
を提供します。

世界の「一人当たりの豊かさ」 の追求

世界中のインフラ成長を支え、
人々の暮らしの質を向上する
ソリューション開発に努めています。



エアトラフィック
マネージメント



石油精製技術



エアポート
ソリューション



インドア
エアークオリティ



スマートグリッド



健康と安全



ターボチャージャー



石油化学技術



機内での生産性



産業向けスキャナ、
モバイル端末



音声制御



流通業向け
スキャナ/プリンタ



OneWireless™
モバイル制御室



コックピット
システム



物流倉庫
コネクティビティ



ワイヤレス
センサ

作業生産性

作業環境をより良く、
よりスピーディーに、
そしてより効率化するための
ソリューションを
お届けします。

事業概要

先進のソフトウェア技術 - ハネウェルは、全世界のすべての事業において CMMI® (能力成熟度モデル統合) 最高の成熟度レベル 5 を 100%達成しました。

4 つの戦略事業部 (SBG)

エアロスペース

ホイール、ブレーキ、ガスタービンエンジン、コクピットシステムや衛星通信システムなど、革新の機械・デジタル技術を集約した、幅広い航空宇宙産業向け製品とソリューションは、世界のあらゆる商用、防衛用航空機への搭載実績を誇ります。そして、世界が認める**ターボチャージャー**は、車両の性能・燃費向上に貢献しています。



- コクピットシステム
- ランウェイ & フライトセーフティテクノロジー
- エアトラフィックマネジメント
- 衛星通信システム
- ガスタービンエンジン
- 精密誘導離着陸システム
- ホイール・ブレーキ
- ロジスティック支援サービス
- ガソリン、ディーゼル、ハイブリッド、燃料電池向けターボチャージャーおよび可変ノズルテクノロジー

パフォーマンス マテリアルズ & テクノロジーズ (PMT)

高機能素材、化学品、プロセス技術、産業向けソフトウェア & オートメーションなどをご提供することで、排出物の低減、プラント稼働効率向上、クリーン燃料生産、石油精製能力向上や、高強度防弾素材・繊維、医薬品の安全包装への寄与を目指します。



- 石油 & ガス向けプロセス技術
機器、触媒およびサービス
- 産業オートメーション技術
- 低 GWP (地球温暖化係数) 冷媒
- 特殊フィルム・添加剤
- 高機能繊維・コンポジット
- 半導体材料・化学品

ホーム & ビルディング テクノロジーズ (HBT)

環境制御、エネルギー管理システム、防火システムなど、世界で 1 億 5 千万の住宅と 1 千万件のビルへの採用実績を誇る製品とソフトウェアソリューションをご提供。住宅、ビル、インフラ設備の快適性、セキュリティ性と、エネルギー効率性に貢献します。



- 住宅向け環境制御・セキュリティ
- ビル制御システム
- スマートグリッド / デマンドレスポンス技術
- 火災報知システム
- 遠隔医療モニタリング

セーフティ & プロダクティビティ ソリューションズ (SPS)

センサ、スキャナ、モバイル端末、データを活用した包括的な**コネクティビティソリューション**や、作業者の安全を守る**安全保護具**や**機器**は、安全性と効率性に優れた業務環境と、より良い事業運営を可能にします。



- AIDC (自動認識データ収集)
- 物流倉庫オートメーション・音声制御システム
- 安全保護具
- ガス検知器
- ラベルプリンタ
- バーコードスキャナ・モバイル端末

ハネウェル概要

グローバル本社：米国ニュージャージー州モリスプレーンズ

代表：社長兼 CEO ダリウス・アダムチック

事業展開：世界 70 ヶ国、～ 1,300 拠点

拠点分布 50% 米州、25% 欧州・中東・アフリカ、
9% 中国、11% インド、5% その他アジアパシフィック

従業員数：約 131,000 名

(うち技術者約 23,000 名、約 50% はソフトウェアに従事)

上場市場：ニューヨーク証券取引所 (NYSE: HON)

フォーチュン 100 (米国企業総収入上位 100) 企業

2016 年実績：

総売上高：393 億米ドル

米国外売上比率：54%

46% 米国、8% その他米州、25% 欧州、
5% 中国、2% インド、4% 中東、10% その他

事業部別売上高：

エアロスペース 148 億米ドル HBT 107 億米ドル
PMT 93 億米ドル SPS 46 億米ドル

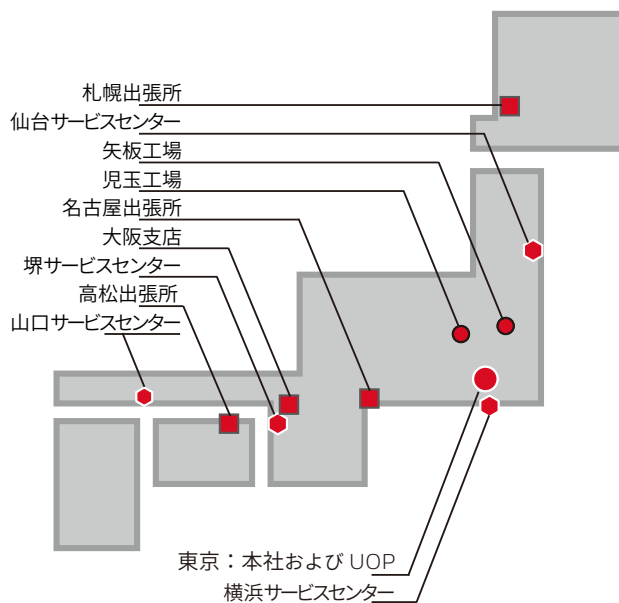
ハネウェルジャパンについて

60年を超える歴史

ハネウェルの日本における歴史は、日本で計装技術の導入が始まった1900年代初期にさかのぼり、山武商会(株)(現アズビルトレーディング(株))を代理店とし計装製品を販売したことから始まります。1953年には山武計器(株)(現アズビル(株))との合併事業を設立し、オートメーション産業の発展に努めました。以降、国内産業の成長を見据えた事業の変革と拡大を進めてまいりました。

そして、合併事業設立から60年を経た現在、ハネウェルジャパンはターボチャージャー、アビオニクス、石油精製、石油化学工場向け製品から、電子部品、スキャナ、センサ、医薬品用包装フィルム、非常に低いGWP(地球温暖化係数)の冷媒やフォーム用発泡剤まで、全4事業部の製品・ソリューションを日本のお客様にお届けしています。

また、ハネウェルは今後の成長戦略として、広くソフトウェア技術に注力してまいります。例えば、自動車産業に向けたオートモーティブソフトウェア部門を新設し、パワートレイン制御、バーチャルセンシング、サイバーセキュリティや統合車両健全度管理など、自動車をより安全かつ燃費効率向上に寄与するソフトウェア技術を提供しています。ハネウェルジャパンでは、今後もお客様の個別ニーズに合った技術ソリューションを提供してまいります。



沿革



会社概要

社名	ハネウェルジャパン株式会社 Honeywell Japan Inc.	役員	代表取締役社長 木下 靖博 取締役 家永 正之 取締役 瀧瀬 勝之 取締役 増井 千世 取締役 ジェラルド・F・ウィリス
設立	1982年11月9日	従業員数	400名
資本金	250,000千円	取引金融機関	三菱東京UFJ銀行本店、ドイツ銀行、三井住友銀行本店
株式の状況	会社が発行する株式の総数 28,000株 発行済株式総数 8,225株	決算期	12月(年1回)
出資者及び出資比率	ハネウェル ノースアトランティックホールディングスリミテッド(100%)	グループ会社	UOP 株式会社
代表	代表取締役社長 木下 靖博		
本社所在地	〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー 20F Tel: 03-6730-7000 (代表)		
ウェブサイト	https://www.honeywell.com/worldwide/asia-and-australia/japan-ja		

コーポレート・シティズンシップ

ホームタウン・ソリューションズ



ハネウエルの社会貢献部門であるハネウエル・ホームタウン・ソリューションズは、科学・数学教育、家族の安全・セキュリティ、住居・住生活、環境・保護、人道支援の5つの重要な領域で貢献活動を行っています。

ガイドラインとポリシー



ハネウエルは、事業全体において最高標準の企業倫理と企業社会責任を実践しています。

持続可能性



ハネウエルは、優れた生産性と品質を可能にする技術とソリューションを提供し、持続可能な社会を目指します。

ダイバーシティ (多様性)



ハネウエルは、多様性を尊重し、異なる考え・バックグラウンドや経験に常に敬意を払い、理解と感謝の意を持って活動しています。

持続可能性

ハネウエルは、2004～2011年に温室効果ガス排出量の30%削減と、エネルギー効率の20%改善を達成しました。続く2011年に掲げた5ヶ年計画の目標値も、予定より早い3年でクリアしています。そして、ハネウエルは2019年までに、対2013年の売上増加分につき、1ドルあたりプラス10%の温室効果ガス排出削減を目指し事業活動に取り組んでいます。

これまでの歩み

温室効果ガス
2004～2016年間に
65%以上削減。

エネルギー効率性を
2004～2016年間に
40%近く改善。

社会貢献活動 - ハネウエル・ホームタウン・ソリューションズ



ハネウエルは、地域社会の一員として、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。日本でも、2011年の東日本大震災の際、がれき除去作業にお役立ていただける安全手袋や防護服

に加え、救助・探索活動に必要な超小型無人飛行機の提供を通じて災害支援を行いました。

そして、2013年6月には、岩手県大船渡市に、被災地のお年寄りが集い若い世代と交流を持つ場となる「ハネウエル居場所ハウス」の設立をサポート。復興・再建が進む現在も、地元団体およびボランティアにより運営されており、地域住民を迎え入れ、集い、また絆を築く場として活用されています。



ハネウエル居場所ハウス
岩手県大船渡市



「かまど体験イベント」にて居場所ハウス運営メンバー、地元ボランティアの皆様とハネウエルジャパン社員 (2014年10月)

拠点・お問い合わせ先

ハネウェルジャパン株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー 20F & 21F (受付: 20F)

ビジネスや製品に関するお問い合わせ先: Web.Japan@honeywell.com
報道機関のお問い合わせ先: Japan.Communications@honeywell.com

エアロスペース事業部

エアロスペース Tel: 03-6730-7002 Fax: 03-6730-7227

トランスポートーションシステムズ
Tel: 03-6730-7070 Fax: 03-6730-7225



SmartView™
シンセティックビジョンシステム (SVS)



世界をリードする
ターボテクノロジー

パフォーマンス マテリアルズ & テクノロジーズ (PMT) 事業部

HPS - プロセス・ソリューションズ

- 紙パルプ、エネルギー & ケミカル Tel: 03-6730-7140 Fax: 03-6730-7228
- アドバンスドソリューションズ Tel: 03-6730-7220 Fax: 03-6730-7228
- ハネウェル・サーマル・ソリューションズ Tel: 03-6730-7208 Fax: 03-6730-7224

AM - アドバンスド・マテリアル

- スペシャルティ・プロダクツ Tel: 03-6730-7106 Fax: 03-6730-7222
- フッ素化学品 Tel: 03-6730-7106 Fax: 03-6730-7221



Experion® Orion
コンソール



Aclar® 医薬品用
包装フィルム



ソルスティス
低地球温暖化係数
ソリューション

ホーム & ビルディング テクノロジーズ (HBT) 事業部

E&ES - エンバイロンメンタル & エナジーソリューションズ

Tel: 03-6730-7208 Fax: 03-6730-7224

HSF - セキュリティ & ファイア

- セキュリティ Tel: 03-6730-7195 Fax: 03-6730-7224
- ファイア Tel: 03-6730-7288 Fax: 03-6730-7224



WEBs シリーズ
ビルディングオートメーション
システム (BAS)



セキュリティ
映像システム

セーフティ & プロダクティビティ ソリューションズ (SPS) 事業部

ハネウェル・セーフティ・プロダクツ Tel: 03-6730-7237 Fax: 03-6730-7224
ハネウェル・アナリティクス・ユニット Tel: 03-6730-7320 Fax: 03-6730-7224
センシング & IoT Tel: 03-6730-7208 Fax: 03-6730-7224
プロダクティビティ・プロダクツ Tel: 03-6730-7344 Fax: 03-6730-7224
ワークフローソリューションズ Tel: 03-6730-7234 Fax: 03-6730-7224



安全保護具
ガス検知器



バーコード /
QR コードスキャナ



TruStability
圧力センサ

支店・出張所・サービスセンター

大阪支店

〒541-0052

大阪府大阪市中央区安土町 1-6-14 朝日生命辰野ビル 6F

HPS Tel: 06-6265-6065 Fax: 06-6265-6070

SPS Tel: 06-6265-6080 Fax: 06-6265-6070

出張所

札幌出張所 (HPS)

〒003-0004

北海道札幌市白石区東札幌 4 条 1 丁目 2-20

安全ビル 3F

名古屋出張所 (HPS)

〒507-0033

岐阜県多治見市本町 2 -35-3 ラコービル 402

高松出張所 (HPS)

〒760-0018

香川県高松市天神前 1 0-12 香川天神前ビル 3 F

サービスセンター

仙台サービスセンター (HPS)

〒 980-6023
宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 住友生命仙台中央ビル 23F

堺サービスセンター (HPS)

〒 595-0055
大阪府泉大津市なぎさ町 6-1
堺泉北港ポートサービスセンタービル 401

横浜サービスセンター (HPS)

〒 244-0805
神奈川県横浜市戸塚区川上町 87-1 ウェルストン 1 ビル 1F

山口サービスセンター (HPS)

〒 745-0034
山口県周南市御幸通 1-11 新興ビル 3F

グループ会社

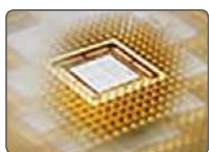


UOP 株式会社

(PMT 事業部)
〒 141-0032
東京都品川区大崎 1-6-3 日精ビル 8F
Tel: 03-6730-7490 Fax: 03-3493-1446

主要取扱製品 : プロセスプラント (PSA・メンブレン)
セールス、ガス処理プロセスライセンス、
プロセス機器 (トレー・チューブ) セールス

工場



矢板工場

(PMT 事業部 - スペシャルティ・プロダクツ)
〒 329-1574
栃木県矢板市乙畑 1752-1
Tel: 03-6730-7501 Fax: 0287-48-8312

主要製品 : 半導体向け電子材料
取得済認証 : ISO 9001:2008



児玉工場

(エアロスペース事業部 - トランスポーターションシステムズ)
〒 367-0206
埼玉県本庄市児玉町共栄 350-17
Tel: 0495-72-4151 Fax: 0495-72-4466

主要製品 : 乗用車、商用車、建機、船用
各種ターボチャージャー
取得済認証 : ISO 9001:2008
ISO 14001:2004

(2017 年 1 月現在)

Honeywell International Inc. は、本書に記載されている情報が正確で信頼性のあるものと確信していますが、明示的または黙示的にかかわらずこれら情報の提供はいかなる保証または責任も伴わず、また Honeywell International Inc. が表明、保証するものではありません。すべての製品の性能は、他の原材料、用途、配合、環境的要素や製造条件などのユーザー条件における使用下で影響を受ける場合があるため、製品の製造や使用にあたってはユーザーがこれら全てを考慮する必要があります。ユーザーは、本書に当該製品の正確な評価データが掲載されていると仮定すべきではありません。本書に記載された情報は、ユーザー自身による独自の試験や実験責任を回避するものではなく、製品および/または本書に記載された情報の使用に際してユーザーはあらゆるリスクおよび責任 (結果、特許侵害、法規制準拠、労働安全衛生・環境に対するリスクを含むが、それに限定されない) を想定するものとします。

ハネウェルジャパン株式会社

Honeywell Japan Inc.

〒 105-0022
東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー 20F
Tel: 03-6730-7000 (代表)

www.honeywell-japan.com

Sep 2017
© 2017 Honeywell Japan Inc. All Rights Reserved.

Honeywell
THE POWER OF CONNECTED